

奨励賞



設計者

水谷俊博

東京建築士会、水谷俊博建築設計事務所

美術館(公共施設)

群馬県前橋市千代田町

アーツ前橋

構造・階数

鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
既存建物の地下1階、地上1・2階部分

敷地面積

2,629.69㎡

建築面積

1,932.89㎡

延床面積

5,517.38㎡

竣工

平成24年10月31日



A



B



C

A 外観(夜景)。既存施設の曲面状の外形に沿ってアルミパンチングメタルをまとう

B パンチングメタルのディテール。孔径は下から上に行くにつれて小さくなり、光と影のバランスを変化させる

C プロムナード。1階と地下を繋ぐシーケンス

D 展示室(ギャラリー2)。中央には既存エスカレーター撤去による吹き抜け、展示壁には開口が設けられ、人々の動きを感じることができる

写真撮影...浅川 敏

選評

駅前の商業施設を市立美術館へと機能を変更したプロジェクトである。過去に商業施設として計画された建築を美術館にコンバージョンすることは、通念からすると奇妙なプログラムであるように最初は思えた。敷地条件、プログラムなど、商業建築と美術館は随分異なる種類の建築だからである。しかし、「市民に開かれた」施設という意味ではどちらも同じであり、これまでに類例が少ないこの計画がどのように実現されたのか、興味を持って現地審査に望んだ。

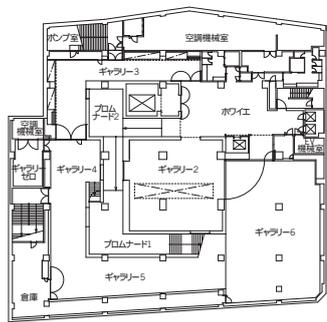
この計画では、元の商業施設もさほど古いものではないためか、耐震補強までは求められていないため、設計者は既存構造

躯体への新しい開口部の設置を最小限としながら、美術館の機能を挿入しているように思える。既存躯体へのそうした配慮が引き金となつてか、ゼロから発想された新築の展示空間では発想されないような空間が実現されており、また、既存の建築内部風景を積極的に取り入れた新しい展示空間も実現されている。

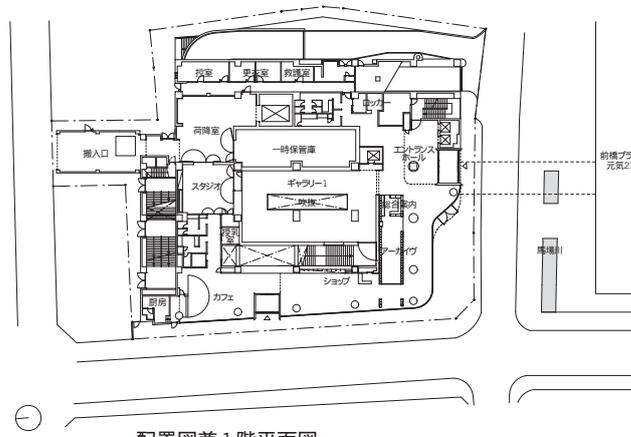
外部は金属の薄い穴あきのスキンを既存躯体に重ねることでこれまでとは異なった立面とし、最小限の操作で都市景観に寄与する新しい表情を創り出している。与条件に誠実に対応しつつ、外部、内部とも好感の持てる都市の建築としての美術館が実現されている点を評価し、顕彰する次第である。(岸 和郎)



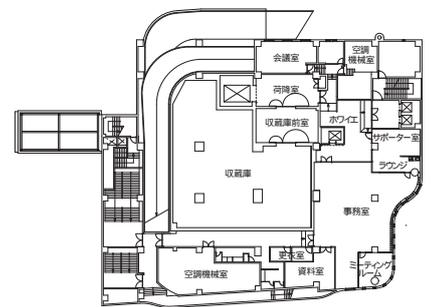
D



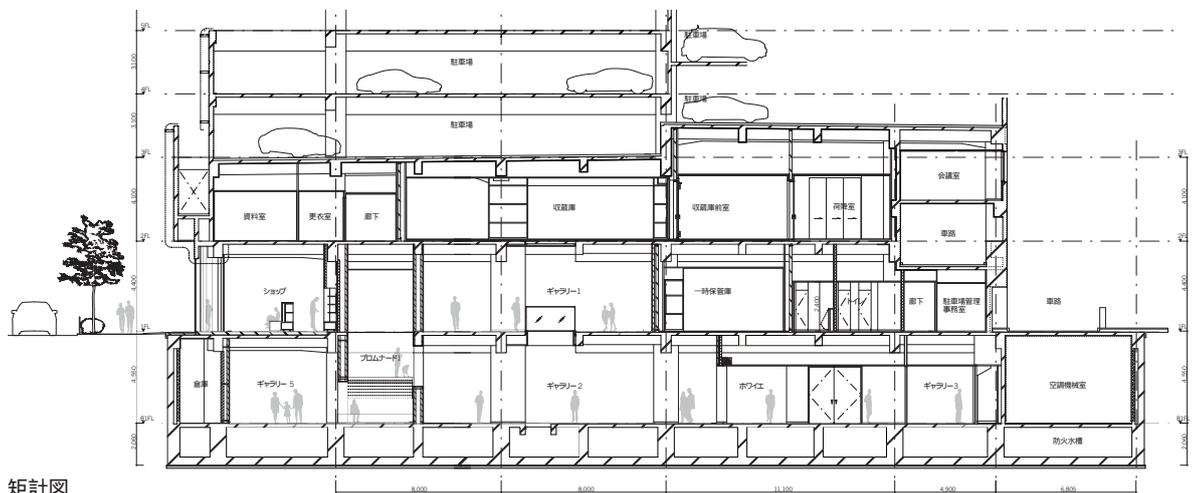
地下1階平面図



配置図兼1階平面図



2階平面図



矩計図